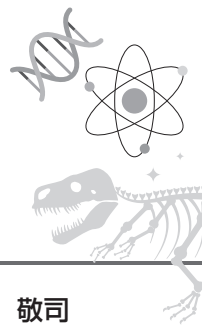




いろいろな貝の標本づくり

ー色と形を比べてみようー



個人出展

東大寺学園中学・高等学校（奈良県） 米田 敬司

●どんな観察なの？

海辺を散歩したこと、ありますか？ 南の海の砂浜には、きれいな貝殻がいっぱい打ち上げられています。独特な形、様々な色合い、不思議な模様。いったい、なんという名前の貝なのでしょう。気にいった貝殻を手にとって選んで、図鑑で名前を調べてみましょう。名前が分かると、その貝の生き方を調べることもできます。貝殻の色や形の理由も考えてみましょう。身を守るためには、殻があります。では、どんなところで生活し、何を食べているのでしょうか。選んだ貝殻をケースに整理して、ラベルを添えると、標本のできあがりです。豊かな自然に生きる貝類の多様性を感じてみませんか。

●観察のしかたとコツ

【用意するもの】

サクラガイなどの貝殻、タカラガイの種類、イモガイ科の貝殻、ハマグリ科の種類、タマガイ科、トウカムリ科の貝殻など、図鑑

【観察のしかた】

- (1) 貝の種類は大きく巻き貝と二枚貝に分けられます。どのような特徴で見分けられるか観察しましょう。
- (2) いろいろな種類の貝が入ったトレイから、自分の気にいったものを6つ選びましょう。
- (3) 図鑑を参考に形・色・模様などを見比べて、その貝の名前を探しましょう。
 - ・サクラガイの仲間は薄い二枚貝で、ピンク色の種類が多いです。すじ（成長線）のある種類もあります。
 - ・タカラガイ科の貝殻は、たる型に巻いた中央に歯のある殻口が開いています。色や形から、見分けます。
 - ・イモガイの仲間は細い円すい形の巻き貝で、点やしほ模様が見分けるポイントになります。
 - ・ハマグリやアサリの仲間はマルスダレガイ科です。だ円形の二枚貝で、すじの現れるものもあります。
 - ・タマガイ科は、他の貝に穴をあけて食べる種類です。殻の底のへその部分に特徴があります。
 - ・トウカムリ科は巻き貝で殻が薄いものも多く、点や四角形の独特の模様があります。
- (4) 図鑑を見ながら、それぞれの貝は、何を食べているのでしょうか。どこにすんでいるのでしょうか。貝殻の形に、何か関係があるかもしれません。
- (5) ラベルに科名と種名を記入して、図1のように貝殻を標本ケースに整理します。いろいろな種類の生物が存在していること（生物多様性）に気づけましたか。できあがった標本は、持ち帰ることが出来ます。名前を覚えて、今度は海で出会えるといいですね。

●気をつけよう

終了後は、手をよく洗いましょう。

●もっとくわしく知るために

以下の本により詳しい解説があります。

・奥谷喬司 著：「フィールドベスト図鑑 日本の貝 1・2」学研（2006）



図1 標本例 左上:ハルシャガイ



図2 奄美大島の多様な貝